

文化の窓

企画展案内

ヨーロッパ

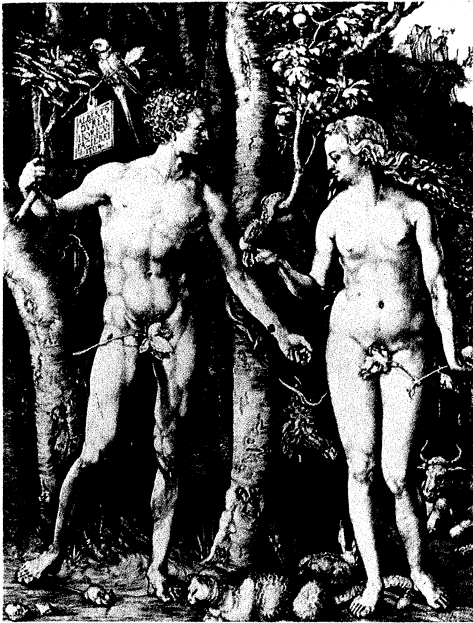
版画名作展

会期 七月二十三日(土)から

八月二十一日(日)まで

会場 福島県立美術館

ヨーロッパの版画の歴史は、日本や中国よりも新しいものですが、技法の面では多様な発達を遂げました。この展覧会では、シヨーンガウアー、デューラーからピカソ、シャガールまで、約三十人の画家の百六十余点の作品によって、五百年間に及ぶヨーロッパ版画の歴史と魅力を紹介します。



▶アルブレヒト・デューラー
「アダムとイヴ」一五〇四年・エッチング



▲マルク・シャガール「サーカス」より
1967年・リトグラフ

黒田清輝展

— 近代日本画の巨匠 —

会期 八月二十七日(土)から

十月二日(日)まで

会場 福島県立美術館

黒田清輝は、フランス留学で得た光の表現に優れ、生気に溢れる印象派風の描写によって明治・大正期の洋画壇に大きな衝撃と影響を与えました。

本展では、東京国立文化財研究所所蔵作品の中から代表作を含め、油彩六十点・素描五十点等により、初期から晩年に至る黒田の画業を紹介します。

講演会 「黒田清輝—人と芸術」

講師 三輪英夫 (東京国立文化財研究所)

日時 九月十五日(木) 午後一時半

会場 県立美術館講堂 (入場無料)



◀黒田清輝「湖畔」一八九七年

観覧料

一般・大学生 七〇〇円(五五〇円)

高校 生 五〇〇円(四〇〇円)

小・中学生 三五〇円(二五〇円)

(-) 内は二十名以上の団体料金

休館日 毎週月曜日・九月十六日(金)